



つながれ KENPOKU

令和8年9月8日 発行

今回は、二本松市及び本宮市の公民館における取組について紹介します。

公民館訪問 **7月15日** **二本松市東和公民館**
 7月17日 **本宮市白沢公民館**

【二本松市東和公民館】 【多世代の絆がつむぐ地域の学びの拠点】



東和文化センターや支所が一体となった複合施設として、3つの地区公民館とともに東和全域の生涯学習を支えています。「キッズチャレンジ」では「棚田を守る会」や地元寺院など多様な地域人材が講師を務め、ホタル観察や座禅等の自然・文化体験を通して未来を担う子どもの豊かな育ちを支援。市民講座は、土曜日に設定することで現役世代や働く若い世代の参加を促しています。また、東和中学校の生徒が「東和公民館まつり」のボランティアとして参画するなど世代間交流も盛んです。図書室でのスタンプカードや季節のイベント企画など子どもが日常的に親しめる工夫も凝らし、地域の豊かな魅力と人をつなぐ温かな拠点となっています。

【本宮市白沢公民館】 【多世代の絆と魅力であふれる交流広場】



白沢エリアの文化・スポーツ・教育施設が集積する生涯学習拠点として、地域の学びと交流を推進しています。リニューアルされた快適な施設環境のもと、NPO等との協働により市民主体のサークル活動を創出・支援。市内6つの分館とともに地域コミュニティの場や指定避難所機能を担っています。また、「もとみやジュニアボランティア」による中学生の活躍や、公民館での宿泊避難所体験・防災キャンプなど、学校や地域と連携した体験型の防災教育や青少年育成に注力。隣接する「しらさわ夢図書館」や「ふれあい美術館」等の施設と連携した魅力的な事業展開や、全国的にも利用が進む「電子夢図書館」の活用など、地域資源との相乗効果を生かし、多世代が親しみいきいきと学べる地域のハブとなっています。